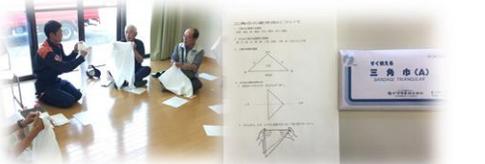


## 出前講座開催

今年度第1回出前講座『覚えておきたいとっさの手当て』が5月19日(土)午後3時から5時まで大塚児童館にて開催されました。愛川町消防署より、齋藤秀和氏、山崎一樹氏、島田貴弘氏の3名をお招きして、実践的な緊急手当法について実技指導していただきました。参加者は3班に分かれ、三角巾を使った圧迫止血法、負傷者の搬送法、骨折の応急手当法について、実際に指導のもと各自その方法を体験いたしました。緊急時での、応急手当法大変勉強になりました。



三角巾による圧迫止血法:血液は体重の1/13(65kgの人だと約5リットル)その1/3(1.5リットル)が失われると死んでしまいます。圧迫止血法は最も基本的な緊急止血法です。



骨折の緊急固定法:骨折の場合、患部を固定することが重要になります。身近な道具を使った緊急固定法を学びました。新聞紙を折りたたんだもの、雑誌を添え木にして腕の骨折部位を固定する方法、傘を添え木にして、脚の骨折部位の固定する方法を実技しました。また、スーパーなどのレジ袋が、腕の固定として三角巾の代用として使えます。



負傷者の搬送方法:緊急時負傷者の搬送は重要です。意識のある人・ない人を、一人であるいは二人で、椅子を使って、毛布で簡易的な担架を作って運ぶ方法を学びました。意外に力が必要なく、安全に負傷者を搬送できることが分かりました。



心肺蘇生法とAED:心肺蘇生法は心臓マッサージ30回その後人工呼吸を2回(1回1秒)を繰り返します。AEDが到着したら音声ガイドに従って処置を行い、その後心肺蘇生法を継続します。実際の道具と人形を使って体験しました。最近大相撲の巡業中に起こったのでご存知の方も多はずです。

## 新入生を迎える会開催

育成会子供会部による『新入生を迎える会』が、5月13日(日)午前10時から大塚児童館にて開催されました。今年度の新1年生26名を含む子供と保護者とを併せて88名の参加がありました。6年生の日村太一君によるはじめのこぼでスタート、新1年生の自己紹介の後、各組に分かれて伝言ゲームやビンゴゲームをおこない、新1年生と上級生とで楽しく過ごすことができました。



日村太一君はじめのこぼ



林田会長あいさつ



ピカピカの一年生自己紹介



子供部会役員の自己紹介



ごうか?景品のかずかず



みんなで協力 伝言ゲーム

## 日本赤十字会費・社会福祉協議会会費への募金

災害救護、献血事業や地域の福祉活動推進の為、日赤会費および社福協会費への募金活動が行われます。募金の締切は、6月17日までです。ご協力よろしくお願いいたします。

## 平成30年度第1回避難所運営会議

5月18日(金)午後7時より中津第二小学校において第1回避難所運営会議が開催されました。防災時の避難所の設営等、防災マニュアルに従い説明が行われました。



## 寿会定期総会

夏を思わせるほど暑い4月22日(土)12時から大塚児童館で会員総数108名中新入会4名を含む65名が出席され、平成30年度寿会定期総

会が開催されました。赤坂会長より、年間の150回以上にもおよぶ活動内容が報告されました。今年度もシルバーパワー全開で、ご活躍されることを期待しております。よろしくお願いたします。



## 迫りくる防災に備えてNo.2 防災士 齋藤増雄

### 地震で命を落とさないために

阪神淡路大震災では、災害関連死も含めると6,436人もの命が奪われました。

- 死因は、圧迫死によるものが80%以上を占めました。圧迫死は、倒壊建物等により圧迫され、息が出来ない状態、窒息状態が多くを占めました。
- 平成7年1月17日午前5時46分に発生した地震で、死者の90%以上は、死亡推定時刻が当日午前6時までの即死状態でした。犠牲者の多くは、古い木造住宅に多く、建物の耐震性が問題となりました。

さて、家を建てるときは、建築基準法にそって建築しなければなりません。地震国日本では、昭和56年6月1日に耐震基準が改正され、耐震性が強化されました。

阪神淡路大震災では、昭和56年以前の建物に大きな被害が集中しました。地震対策の中心は、建物の耐震対策と言われています。まずは、わが家の耐震診断をお勧めします。町の補助制度も活用できます。また同時に、家具類の転倒防止やガラスの飛散による怪我防止なども考えておきましょう。

今回は、地震時の火災出火防止対策についてお話しします。

### お知らせ



表替え前



表替え後

大塚児童館和室の畳が傷んでまいりましたので、役場の助成金を得てこのたび表替えを行いました。い草の香りの良い、きれいになった和室で、より一層児童館を有効活用してください。

大塚区前期区費の集金が終了いたしました。平成30年度前期の総戸数は、551戸で区費の総額991,800円でした。ご協力ありがとうございました。

### お願い

- ゴミ出しルールの厳守:最近燃えるゴミの日に剪定枝や雑草が出されているケースが見受けられます。剪定枝などの回収は、隔週の水曜日が指定日となっていますので、ご注意ください。
- 区役員も調査いたしますが、区民の皆様のご近くで道路の補修(道路の打ち換え、舗装・側溝の補修)等の希望がございましたら、区長までご連絡ください。自治会から町役場に補修等を要望いたします。

### 区民の活動紹介その1: 大塚ソフトボールクラブ

- ◇部員数:H30年度登録22名
- ◇活動内容:毎日曜日8:30~11:30チーム練習、大会参加(2回/月程)
- ◇練習場所:大塚グランド(高田橋下流1Km 相模川河川敷)
- ◇部員募集:活動を通じ体力の維持向上と会員相互の親睦を図ることを目的に活動しており、男性40歳以上、女性は学生以外で年齢不問です。興味のある方は、是非、下記までご連絡下さい。



◇連絡先 門田:080-6503-2298 伊牟田:090-7228-6364

## 6月の主な行事予定

- 6月吉日-17日:社福協会費および日赤会費の募金期間

### コラム:ワクチン



先月愛川町でも犬を飼われている方は、狂犬病ワクチン接種のお知らせが来たと思います。日本には狂犬病はありませんが、ワクチンは予防のために打たなければなりません。このワクチン、歴史は古く1796年イギリスの町医者であるエドワード・ジェンナーが発見した感染症の予防法です。この当時、全世界では死ぬこともある天然痘(皮膚に膿をもつ水疱ができる)という病気が流行していました(この当時感染症が病原体によって起こることはまだ知られていませんでした)。ジェンナーは患者の中に牛を飼っている酪農家が少なく、居ても症状が軽いことに気が付きました。このころヒトの天然痘と同じような症状を起こす牛の病気である牛痘も流行していました。彼はこの牛痘と天然痘に何か関係があることに気づき、牛の皮膚にできる膿を健康なヒトに打って、天然痘にかかるかを実験しました。この試みは見事に成功し、天然痘を予防できたのです。これが人類が初めて行ったワクチン(種痘)です。その100年後、感染症が病原体によって起こることが証明され、色々なワクチンが作られ、感染症が予防できることが証明されました。ワクチンを打つと血液の中に抗体ができることを証明したのが、北里柴三郎です。天然痘は1979年ワクチン接種のお陰で、地球上からなくなりました。これは現在まで人類のちからによってこの地球上から感染症を撲滅した最初で最後のものになります。ワクチンは、ヒトを含めた哺乳類に有効な感染症予防法です。感染症にならないためにも、有益なワクチンは是非予防として接種してください。ニワトリなどではすでに使われていますが、点鼻ワクチンや舌下ワクチンなど痛くない粘膜ワクチンがやっとヒトでも行われるようになってきました。インフルエンザワクチンも鼻に垂らしてできるようになっています(まだ保険がききません)。